

# 富医ニュース

No.556 平成30年5月1日

一般社団法人 富田林医師会  
会長 堀野俊男  
〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38  
TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858  
E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

## 平成30年度 改定点数説明会

平成30年4月からの診療報酬改定を前に3月26日(月)に医師会にて説明会が実施されました。宮田副会長と赤松理事から3月に行われた大阪府医師会での改定点数説明会のビデオを観ながら詳細を説明して頂きました。

今回の概要としては地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進が目的となっております。

各医院に関係するものとしては、かかりつけ医機能を有する医療機関における初診の評価として機能強化加算が算定できるようになりました。また、周産期医療の充実として外来における妊婦加算が算定可能となりました。

認知症関連では、かかりつけ医と認知症サポート医等との連携に係る評価として認知症療養指導料などが新設されました。地域において認知症患者の支援体制の確保に協力する認知症サポート医が行うかかりつけ医への指導・助言についての評価と、それに対して、かかりつけ医が認知症サポート医の助言を受けて行う認知症患者の医学管理等についての評価が新設されております。

機能強化加算については算定条件の確認をしていただき、近畿厚生局へ届け出が必要です。届け出は各医院でお願いいたします。その他の妊婦加算、認知症医療指導料は届け出の必要はありませんが、平成30年度診療報酬改定の概要で内容をご確認のほどよろしく願いいたします。

## 平成30年度 定例総会ご案内

日時 平成30年5月28日(月) 14:00~15:00

場所 医師会 大会議室

### 総会次第

- ☆ 開 会 出席会員数確認後議長により開会宣言
- ☆ 議事録署名人選出
- ☆ 会長挨拶
- ☆ 入退会会員紹介
- ☆ 表 彰  
会員20年表彰 役員10年表彰

### 総会議事

#### [議案]

- I. 平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画案承認の件
  - II. 平成29年度医師会決算および平成29年度訪問看護事業特別会計決算承認の件
  - III. 平成30年度医師会予算案および平成30年度訪問看護事業特別会計予算案承認の件
  - IV. 役員改選承認の件
  - V. その他
- ☆ 閉 会

## 調 整 日

4月分 5月8日(火)  
PM3:00まで

5月分 6月7日(木)  
PM3:00まで

## 5 月 の 予 定

- 1日(火)・休日診療委員会
- 8日(火)・調整日  
・学校医部会
- 9日(水)・救急災害医療委員会
- 12日(土)・会長副会長連絡会議
- 17日(木)・学術講演会
- 18日(金)・理事会
- 22日(火)・感染症対策委員会
- 25日(金)・広報調査委員会
- 28日(月)・総会
- 29日(火)・休日診療委員会  
・広報調査委員会  
(校正)



## 平成30年 4月定例理事会

日 時 平成30年4月13日(金)  
13:30より  
場 所 医師会 特別会議室

### 会長挨拶

### 報告事項

- 1) 要保護児童生徒援助補助金(医療券)にかかる対象疾病の一部取扱いの変更に関して(アレルギー性結膜炎と副鼻腔炎が対象外になった。)
- 2) 第1回運営協議会小委員会の開催について  
(産業医部会)
- 3) 診療報酬改定に伴う施設基準の届出等について
- 4) 第310回大阪府医師会臨時代議員会の決定事項について
- 5) 府立看護学校平成34年終了予定  
(平成31年の募集で最終)

### 協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 大阪府南河内保健医療協議会委員の推薦について 任期 30年4月から2年間宮田副会長を推薦
- 3) 大阪府医師国民健康保険組合より次期就任組合会議員の件
- 4) 子育てネットワーク河南 30年度の委員について 仲谷理事 継続
- 5) 平成30年度富田林DV対策連絡会議 代表者及び実務者について 堀野会長、上野副会長から宮田副会長、福田理事に
- 6) 30年度会務分掌と委員会構成について

## 平成30年度 会員親睦会「TMF」二次募集 ご案内

- ★日 時 平成30年7月29日(日) 梅田芸術劇場  
12時からの公演です。(お弁当付)
- ★募集開始 平成30年5月7日(月)より富医ニュース同封の用紙でFAXでお申込みください。
- ★対象 募集人数の都合上A2B会員及びB会員とその配偶者のみです。  
先着順となります。

## 平成30年度 校医・園医移動

学校医 就任・退任

就任 中村 元先生(富田林市立彼方小学校)  
刀禰 央朗先生(富田林市立葛城中学校)  
堀野 俊男先生(河南町立中学校)  
筒井 孝則先生(太子町立磯長小学校)  
(太子町立中学校)

退任 中平 雄二先生(富田林市立新堂小学校)  
中尾 稀一先生(富田林市立葛城中学校)  
南 栄子先生(富田林市立彼方小学校)  
北株 義純先生(太子町立中学校)  
澤本 好克先生(河南町立河内幼稚園)

## 富田林医師会学術講習会

日時 平成30年5月17日(木) 14:00~15:00

場所 富田林医師会 研修室

【特別講演】14:00~15:00

座長 遠山内科医院 遠山 佳樹 先生

『高齢者神経疾患について

～認知症・てんかんから難病まで～』

大阪南医療センター

神経内科 部長 狭間 敬憲 先生

高齢化社会に突入し、介護問題は避けては通れない問題となりました。介護を必要とする代表疾患が脳血管疾患であり、それに伴う症候性部分てんかんは注意すべき疾患の一つと思います。また、現在500万人を超すといわれている認知症も介護上は大きな問題疾患です。さらに、神経難病では、15万人を超す有病者のパーキンソン病やその類縁疾患である多系統萎縮症なども無動といって動きが少なく、介護を考えるうえでは取り上げなければならない重要な疾患です。今回はこれら、高齢者に多い神経疾患を中心に概説させていただきます。

※本会は生涯教育制度「1単位」取得カリキュラムコード「29」・「35」申請中です。



## 専門医より一言



### 「CKDの診断・治療・ 食事療法について」

富田林病院 血液浄化センター長  
兼 腎臓内科部長

米田 雅美 先生

今回はCKDの診断・治療・食事療法について解説いたしました。

CKDは高齢、糖尿病、高血圧、肥満、脂質代謝異常症を中心に今後も増加が予想される疾患です。血液透析が必要な末期腎不全だけでなく、脳卒中や心筋梗塞などの心血管病、あるいは認知機能障害とも関連していることが判明しています。実際のところ、透析治療が必要になるよりも先に、心筋梗塞や脳卒中などのために亡くなる患者さんが少なくありません。また透析医療による財政圧迫の一因ともなります。

その予防・治療に関しては、これといった特効薬に乏しく、食事療法中心の生活習慣の改善が必要と考えます。毎日の家庭血圧や体重測定、禁煙を徹底し、身体を動かすことです。食事療法では、塩分は小さじ1杯、蛋白は肉・魚ともに自身の手のひらサイズ、お酒はコップ1杯で指導し、データや身体所見を診ながらその都度ズレを補正して指導していきます。カリウム、水分はその患者ごとに異なりますが、最初からグラム数を計測しながらの厳しい指導はしません。毎日続けられることがポイントです。特に高齢者はよほどのことがない限り、厳しい蛋白制限はしません。

血糖に関しては、腎性貧血があるようなグレード4～5になると、HbA1cはマイナス1程度低めに出ます。この点をご注意いただき御加療下さい。

最後に、当科では栄養指導のみの外来受診も可能です。窓口は腎臓内科米田になります。糖尿病の有無、身長・体重、BUN・Cre・Kを記載ください。(月):糖尿病なしのCKD、(金):糖尿病ありのCKD、となっております。

## \* 鉄道トリビア ～500系新幹線～

国鉄からJRとなって様々なデザインの新幹線が登場し、引退していますが、今回は個人的に最も好きな500系新幹線のお話を。

永遠のライバルともいえる飛行機との競争に打ち勝つため、JR西日本が満を持して平成8年に登場させたのが500系です。全長15mにも及ぶ、カワセミのくちばし



をモチーフとしたロングノーズ。これは300km/hでの高速走行に伴う空気抵抗とトンネル進入時の空気抵抗および騒音を極限まで小さくすることを最優先に作られています。円筒形に近い車体、戦闘機のようなキャノピー型の運転台、ブルーとダークグレーの塗装も似合っています。その格好良さは群を抜いています。そのパワーも300km/hを達成するべく高性能で、同時期にJR東海が出した300系の1.5倍の出力を誇り、300系は16両中電動車が10両であるのに対し、500系は16両すべてが電動車。パンタグラフも空力抵抗を減らしつつ騒音を抑えるために、風切り音を出さずに飛ぶことのできるフクロウの羽根にヒントを得たデザインを採用。車体素材も強度を保ちつつ軽量化を

図るため、アルミ合金を使用したハニカム構造とされ、1両当たりの重量は300系

と比べ600kgも軽量でした。速く走ることを最優先に開発された形式、それが500系新幹線なのです。

デビュー当初は新大阪～博多間を2時間17分、東京～博多間を4時間49分で走破。所要時間は300系よりも15分以上早く、韋駄天の名をほしいままにします。しかしそんな500系にも弱点がありました。速さを追求したために車内空間は他の新幹線と比べ狭いこと。そのため座席の幅が数センチ狭いこと。先頭車は、そのロングノーズのために前半分に乗客用の扉を設置することができなかったこと。これらが使い勝手の悪さにつながり、現場および一部の乗客からは疎まれる存在になっていきます。



## 4 月 行 事 ・ 会 合

転機となったのは平成15年。このときのダイヤ改正により「ひかり」主体のダイヤが「のぞみ」主体のダイヤになり、「のぞみ」の停車駅が増え、500系と他の形式との所要時間の差が縮まってしまう。さらに「のぞみ」にも自由席車が設定されるようになり、扉が1枚少ない500系は乗り降りの不便さから乗客からさらに疎まれる存在になってしまいます。とどめとなったのは平成17年、JR東海と西日本が共同で開発したN700系の登場です。技術革新により居住性、汎用性を確保しつつ500系とほぼ同じ速さを得たN700系の登場により、500系は活躍の場を失っていきます。平成22年、N700系の増備に伴い500系は「のぞみ」の運用から撤退します。その在位期間は13年と、他の形式と比べても短いものでした。

「のぞみ」の座を追われた500系ですが、まだ車齢が若いこと、そのデザインから（私も含めて）一部の人間には慕われていることからJR西日本の管内だけで使える「こだま」仕様に改造のうえ、運行が継続されています。しかしその長さは半分の8両にされたうえに最高速度も285km/hに抑えられ、速さの象徴であったパンタグラフも普通のものに置き換えられてしまいます。320km/hでも走れる性能を与えられて誕生したのに、かつて300km/hで疾駆していた山陽新幹線区間で後輩車両に何度も追い抜かれ、牙を抜かれた狼のように新大阪～博多間を5時間以上かけて走っている姿を見るのは忍びないときもありますが、そのデザインはいまでも秀逸であり、末永く走っててもらいたいものです。私はあまり興味はないのですがエヴァンゲリオンというアニメのラッピング塗装を施した編成も運転され、今でも一定の人気がある500系。近々今度はキティちゃんのラッピング塗装をした500系が登場するそうで、これはあまりにも似合わなさすぎる、やめてほしい。。。と思うのは私だけでしょうか。ではまた。  
(zenkun)



- 6日(金)・調整日
- 10日(火)・会長副会長連絡会議
- 13日(金)・理事会
- 19日(木)・学術講演会
- 20日(金)・広報調査委員会
- 23日(月)・訪問看護ステーション運営委員会
- 25日(水)・広報調査委員会(校正)



- 会員数(5月1日現在) 190名  
A会員 99名 B会員 91名
- 入会 4月1日  
荒木 良彦 A (けあばる 循環器内科)
- 4月10日  
植村 剛 A2B (PL病院)
- 退会 3月31日  
土井 敏治 A2B (結のぞみ病院)  
岡本 駿吾 A2B (PL病院)  
寺井 沙織 A2B (PL病院)  
青山 真人 A2B (PL病院)  
星合 昊 A2B (富田林病院)  
畑間 輝雄 A (けあばる)
- 異動 4月1日  
木村 裕毅 A→B (木村耳鼻咽喉科 廃業)

### 広 報 調 査 委 員 会

委員長	齊 藤 謙 介	副委員長	森 井 秀 樹
委 員	青山 賢治 奥野 敦史 中村 元 山村 友良	天城 完二 尾多賀雅哉 藤岡 洋	植村 匡志 遠山 佳樹 山本 善哉